

国立大学法人兵庫教育大学経営協議会（第1回）議事要旨

日 時 平成26年4月23日（水）13時30分～15時10分
場 所 兵庫教育大学神戸ハーバーランドキャンパス兵教ホール

審議に先立ち、前回（第6回）の議事要旨（案）の確認が行われ、原案のとおり了承された。

議 事

1 副議長等の指名について

学長から、配付資料4-1, -2に基づき、経営協議会の概要について説明が行われた。引き続き、経営協議会規則に基づき、副議長が指名された。
次いで、学内委員会委員として、評価委員会委員及び財務委員会委員をそれぞれ指名したことについて報告が行われた。

2 審議事項

(1) 学長選考会議委員の選出について

学長から、配付資料5に基づき、本会議の学外委員8人を学長選考会議委員として選出する旨の説明が行われ、了承された。

3 報告事項

(1) 平成26年度大学経営の重点事項について

学長から、配付資料6-1, -2に基づき、平成26年度大学経営の重点事項について説明が行われた。

委員による主な意見は次のとおり。（○：意見・質問、●：回答）

- 経営の重点事項に国際交流教育の推進とあるが、教育大学の場合、実習がありスケジュールにかなり厳しいのではないかと思うが、実際どの学年で留学させることを考えているのか。
- 本学では1年間程度の長期留学に、3年生を年間2人くらい派遣している。
- 実習との関係では、基礎実習が年に2回予定されている。多くの学生は9月から留学するが、留学する学生が後期に実習を実施するコースに所属している場合は、特例措置として前期に基礎実習を受けることができるように対応している。
- 博士課程の定員増のニーズがあるのではないかと思う。その他、県や市町村の教育長をどのように教育していくか、できれば教育長になる前の段階で全国的、世界的な教育について学べるような博士課程の創設といったことを兵庫教育大学が検討してはどうか。
- 国にも支援をお願いしたいと考えている。

(2) 平成26年度学部及び大学院（修士課程・専門職学位課程、博士課程）の入学者状況について

福本副学長から、配付資料7-1～-3に基づき、平成26年度学部及び大学院（修士課程・専門職学位課程、博士課程）の入学者状況について報告が行われた。

(3) 平成25年における本学の取り組み等について

学長から、配付資料8-1～-4に基づき、平成25年における本学の取り組み等について報告が行われた。

4 懇談事項

(1) 大学のガバナンスについて

学長から、配付資料9に基づき、大学のガバナンスについて説明が行われ、種々意

見交換が行われた。

- この大学ガバナンス改革の本質は、各大学が自ら総点検及び見直しを行い、教育研究及び社会貢献を最大化していくことに目的があり、文部科学省が提示しているガバナンスをそのまま受け入れることではないと思う。
- 学長選考に関していえば、これまではどこの大学も同じような選考方法であると思うが、これからは学長のビジョンが非常に重要になってくると思う。学長のビジョンを明確に出すことが必要であって、ビジョンを共有していく、あるいは共有できるよう啓蒙または説明していくことが大事で、それができなければトップダウンはできないと思う。但し、現場を蔑ろにすると崩壊してしまうので、そこについては慎重に対応すべきであると思う。
- 大学のガバナンスに関する審議のまとめに関して、制度的には、本学はほぼクリアしていると言える。ただ一つクリアできていないと思うのは、ほとんどの大学がそうであると言えるが、学長選考についてである。そのことに関しては、本会議終了後の学長選考会議でご審議いただければと思う。

—以 上—